



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 朝日放送グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9405 URL https://corp.asahi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)沖中 進
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)山本 憲治 (TEL)06(6458)5321
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,368	0.4	598	235.4	777	111.0	486	△55.9
2019年3月期第1四半期	19,296	△0.4	178	△72.9	368	△54.9	1,103	131.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 58百万円 (△96.6%) 2019年3月期第1四半期 1,745百万円 (182.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	11.90	—
2019年3月期第1四半期	27.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	111,583	68,732	57.8
2019年3月期	107,788	67,049	60.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 64,524百万円 2019年3月期 65,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	1.8	3,700	△13.2	4,000	△12.9	2,500	△33.2	61.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名)株式会社ディー・エル・イー

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	41,833,000株	2019年3月期	41,833,000株
2020年3月期1Q	937,210株	2019年3月期	936,032株
2020年3月期1Q	40,895,790株	2019年3月期1Q	40,836,912株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)の日本経済は、堅調な企業収益や所得改善などにより、緩やかな回復基調が続く一方で、米中を中心とする通商問題や海外経済には不透明さが増えています。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送事業の売上高は、テレビネット収入の増加等により、増収となりました。ハウジング事業の売上高は、当期は不動産販売がなかったこと等により、減収となりました。ゴルフ事業の売上高は、プレー収入の増加等により、増収となりました。以上の結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は193億6千8百万円となり、前年同期に比べて7千2百万円(0.4%)の増収となりました。

一方、費用面では売上原価が127億9百万円で、前年同期に比べて4億1千9百万円(△3.2%)減少しました。販売費及び一般管理費については60億6千1百万円となり、7千1百万円(1.2%)増加しました。この結果、営業利益は5億9千8百万円となり、前年同期比4億1千9百万円(235.4%)の増益、経常利益ならびに税金等調整前四半期純利益はともに7億7千7百万円で4億8百万円(111.0%)の増益となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8千6百万円で6億1千7百万円(△55.9%)の減益となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

[放送事業]

放送事業の売上高は163億5千9百万円となり、前年同期に比べて3億8千8百万円(2.4%)の増収となりました。全国ネット番組の好調による、テレビネット収入の増収が主な要因です。一方、営業費用は、労務費等の減少により、0.6%減少しました。この結果、営業利益は5億8百万円となり、4億9千2百万円の増益となりました。

[ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は27億5千3百万円となり、前年同期に比べ3億4千2百万円(△11.1%)の減収となりました。当期は不動産販売がなかったことが主な要因です。一方、営業費用は、前期の不動産販売による原価計上の反動減もあり、10.3%減少しました。この結果、営業利益は1億5千8百万円となり、前年同期に比べて4千5百万円(△22.2%)の減益となりました。

[ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は2億5千6百万円となり、前年同期に比べ2千6百万円(11.7%)の増収となりました。来場者数増加に伴うプレー収入や名義書換収入の増加が主な要因です。一方、営業費用は、労務費や減価償却費の増加により、3.9%増加しました。この結果、営業利益は1千7百万円となり、前年同期に比べて7百万円(69.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて37億9千4百万円増加し、1,115億8千3百万円となりました。借入金の増加と債権の回収等のため、現金及び預金が増加したこと等によるものです。また、株式会社ディー・エル・イーおよび株式会社マッシュの新規連結によりのれんが3億8千2百万円増加しております。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて21億1千2百万円増加し、428億5千1百万円となりました。法人税等の支払いにより未払法人税等が減少した一方で、短期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて16億8千2百万円増加し、687億3千2百万円となりました。配当により利益剰余金が減少した一方で、主に新規連結により非支配株主持分が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は想定の範囲内で推移しているため、通期連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,337	20,576
受取手形及び売掛金	13,550	12,747
有価証券	200	204
たな卸資産	5,114	5,417
未収還付法人税等	312	473
その他	2,345	1,979
貸倒引当金	△9	△15
流動資産合計	37,852	41,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,721	19,543
土地	10,769	10,769
その他（純額）	7,346	7,110
有形固定資産合計	37,837	37,423
無形固定資産		
ソフトウェア	1,167	1,223
ソフトウェア仮勘定	105	51
のれん	-	382
その他	109	125
無形固定資産合計	1,381	1,783
投資その他の資産		
投資有価証券	18,406	18,622
その他	12,320	12,407
貸倒引当金	△10	△36
投資その他の資産合計	30,716	30,993
固定資産合計	69,935	70,199
資産合計	107,788	111,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	3,300
1年内返済予定の長期借入金	240	601
1年内償還予定の社債	-	26
未払金	6,475	6,089
未払法人税等	934	315
引当金	113	577
その他	5,365	3,879
流動負債合計	13,129	14,788
固定負債		
長期借入金	740	1,095
社債	-	81
退職給付に係る負債	17,092	16,882
その他	9,777	10,003
固定負債合計	27,609	28,062
負債合計	40,738	42,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	5,775	5,775
利益剰余金	53,241	52,992
自己株式	△470	△470
株主資本合計	63,846	63,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,018	2,514
退職給付に係る調整累計額	△1,641	△1,587
その他の包括利益累計額合計	1,377	927
新株予約権	-	4
非支配株主持分	1,826	4,203
純資産合計	67,049	68,732
負債純資産合計	107,788	111,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	19,296	19,368
売上原価	13,128	12,709
売上総利益	6,167	6,659
販売費及び一般管理費	5,989	6,061
営業利益	178	598
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	132	122
その他	46	58
営業外収益合計	192	186
営業外費用		
支払利息	1	2
固定資産処分損	0	1
その他	0	2
営業外費用合計	2	6
経常利益	368	777
税金等調整前四半期純利益	368	777
法人税等	△750	268
四半期純利益	1,118	508
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,103	486

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,118	508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	418	△503
退職給付に係る調整額	208	53
その他の包括利益合計	626	△450
四半期包括利益	1,745	58
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,730	36
非支配株主に係る四半期包括利益	15	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送事業	ハウジング事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,970	3,095	229	19,296	—	19,296
セグメント間の 内部売上高又は振替高	133	6	15	155	△155	—
計	16,104	3,102	245	19,451	△155	19,296
セグメント利益	15	203	10	229	△51	178

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△155百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益の調整額△51百万円は、報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送事業	ハウジング事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,359	2,753	256	19,368	—	19,368
セグメント間の 内部売上高又は振替高	133	5	5	144	△144	—
計	16,492	2,758	262	19,513	△144	19,368
セグメント利益	508	158	17	683	△85	598

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△144百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益の調整額△85百万円は、報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(重要な後発事象)

当社は、2019年8月2日開催の取締役会において、国内無担保普通社債の発行について包括決議を行いました。概要は以下のとおりです。

- | | |
|------------|---|
| (1) 発行総額 | 5,000百万円以下 |
| (2) 払込金額 | 社債の金額100円につき金100円 |
| (3) 利率 | 年0.5%以下 |
| (4) 発行予定期間 | 2019年8月3日から2019年12月2日まで |
| (5) 償還期限 | 7年以内 |
| (6) 償還方法 | 満期一括償還 |
| (7) 資金使途 | 投融資資金、設備資金、運転資金及び借入金返済資金に充当する予定。 |
| (8) その他 | 会社法第676条各号に掲げる事項およびその他社債発行に必要な一切の事項の決定は、上記の範囲内で代表取締役社長に一任し、代表取締役社長は、決定後最初に開催される取締役会にて報告するものとする。 |